

(50) 住んでいる家に満足しているか

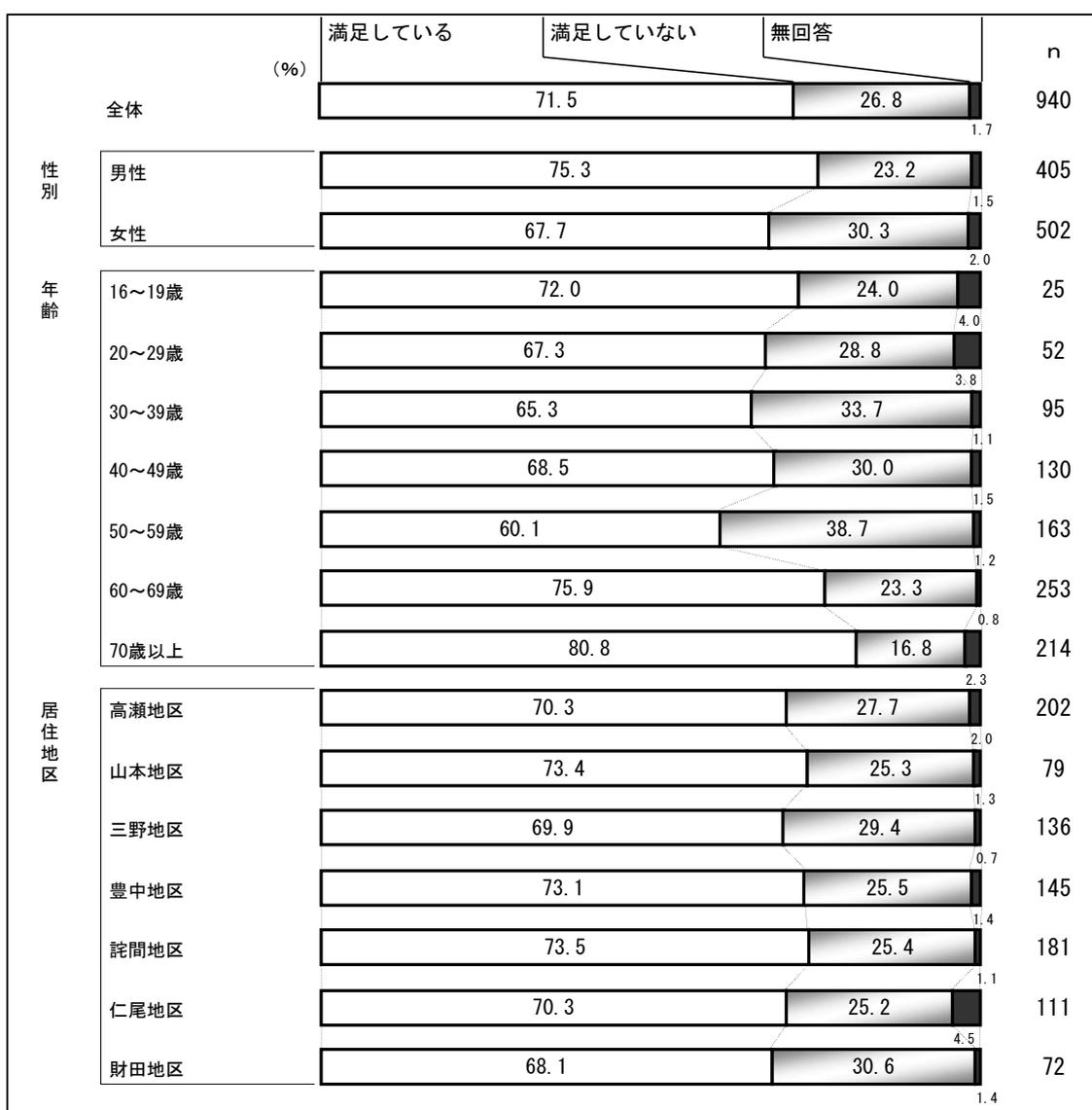
50 あなたは、住んでいる家に満足していますか。

● 住んでいる家に満足している人は 71.5%。

住んでいる家に満足しているかどうかについては、「満足している」と答えた人が 71.5%、「満足していない」と答えた人が 26.8%となっています。

[図表 64 参照]

図表 64 住んでいる家に満足しているか（全体・性別・年齢）



## (51) 学校以外の教育環境

51 あなたは、子ども達の学校以外の教育環境に満足していますか。

● 子ども達の学校以外の教育環境に満足している人は41.2%。

学校以外の教育環境に満足しているかどうかについては、「満足している」と答えた人が41.2%、「満足していない」と答えた人が50.2%となっています。

[図表 65 参照]

図表 65 学校以外の教育環境（全体・性別・年齢）

		満足している	満足していない	無回答	n
		(% )			
	全体	41.2	50.2	8.6	940
性別	男性	40.0	51.4	8.6	405
	女性	42.0	49.2	8.8	502
年齢	16～19歳	48.0	48.0	4.0	25
	20～29歳	44.2	51.9	3.8	52
	30～39歳	40.0	55.8	4.2	95
	40～49歳	44.6	51.5	3.8	130
	50～59歳	39.9	55.2	4.9	163
	60～69歳	40.3	50.6	9.1	253
	70歳以上	39.7	43.0	17.3	214
居住地区	高瀬地区	39.1	53.0	7.9	202
	山本地区	44.3	48.1	7.6	79
	三野地区	47.1	45.6	7.4	136
	豊中地区	42.8	50.3	6.9	145
	詫間地区	39.8	48.1	12.2	181
	仁尾地区	31.5	57.7	10.8	111
	財田地区	44.4	48.6	6.9	72

(52) 災害時の避難路・避難場所

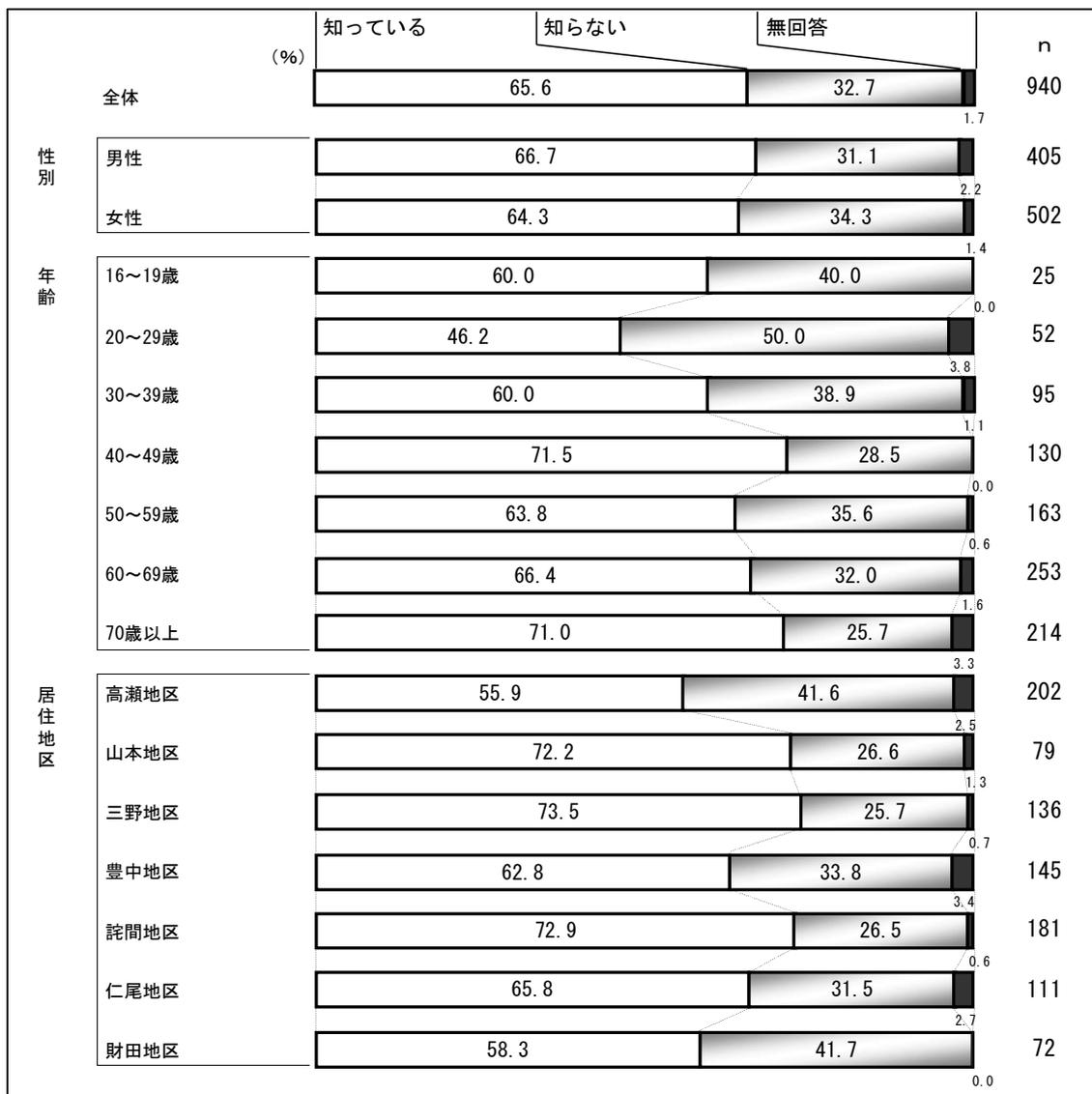
52 あなたは、災害時の避難路・避難場所を知っていますか。

● 災害時の避難路・避難場所を知っている人は 65.6%。

災害時の避難路・避難場所については、「知っている」と答えた人が 65.6%、「知らない」と答えた人が 32.7%となっています。

[図表 66 参照]

図表 66 災害時の避難路・避難場所（全体・性別・年齢）



(53) 男女共同参画社会という言葉を知っているか

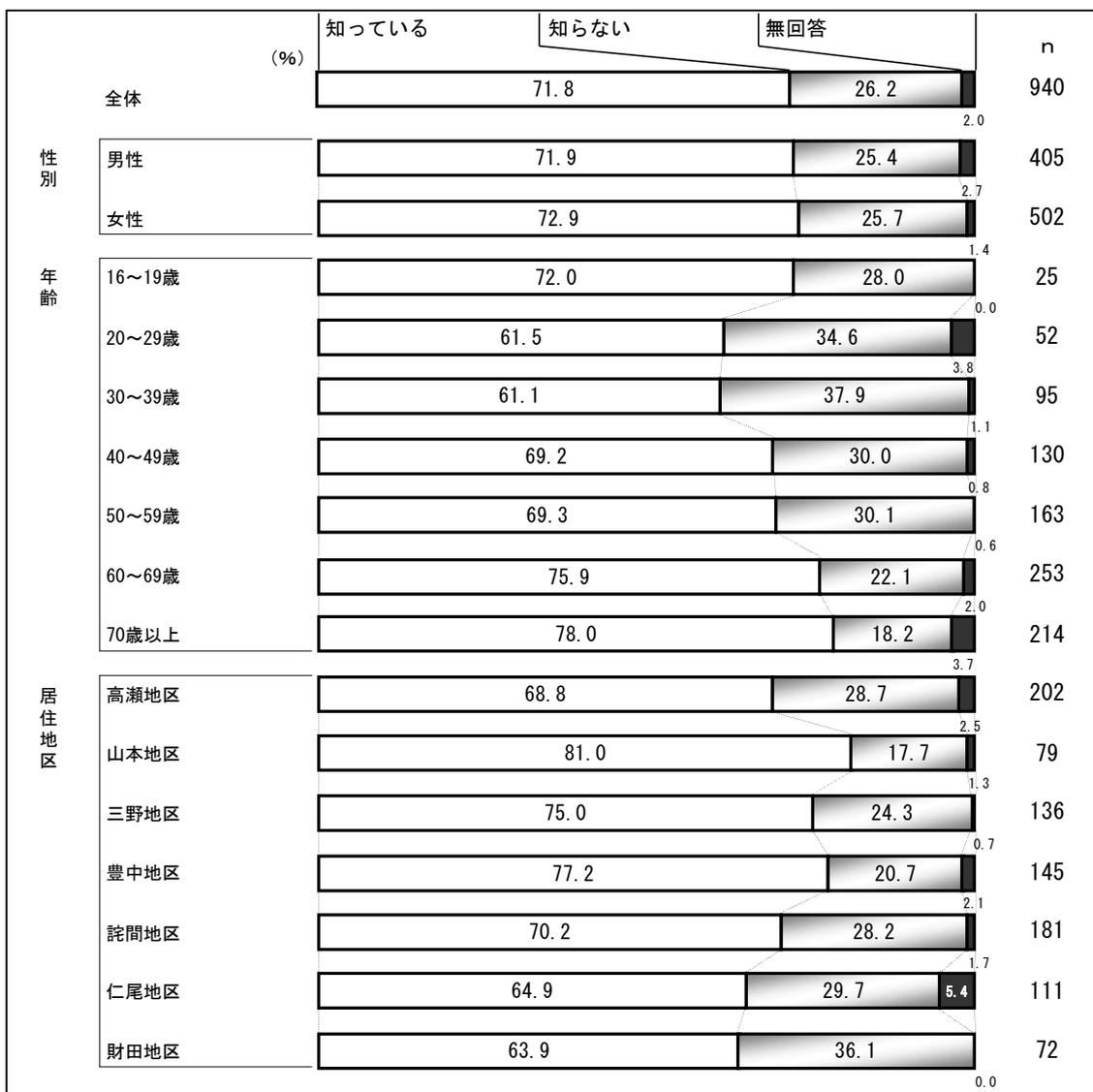
53 あなたは、男女共同参画社会という言葉を知っていますか。

● 男女共同参画社会という言葉を知っている人は 71.8%。

男女共同参画社会という言葉については、「知っている」と答えた人が 71.8%、「知らない」と答えた人が 26.2%となっています。

[図表 67 参照]

図表 67 男女共同参画社会という言葉を知っているか（全体・性別・年齢）



(54) 地元や市内でとれた農水産物

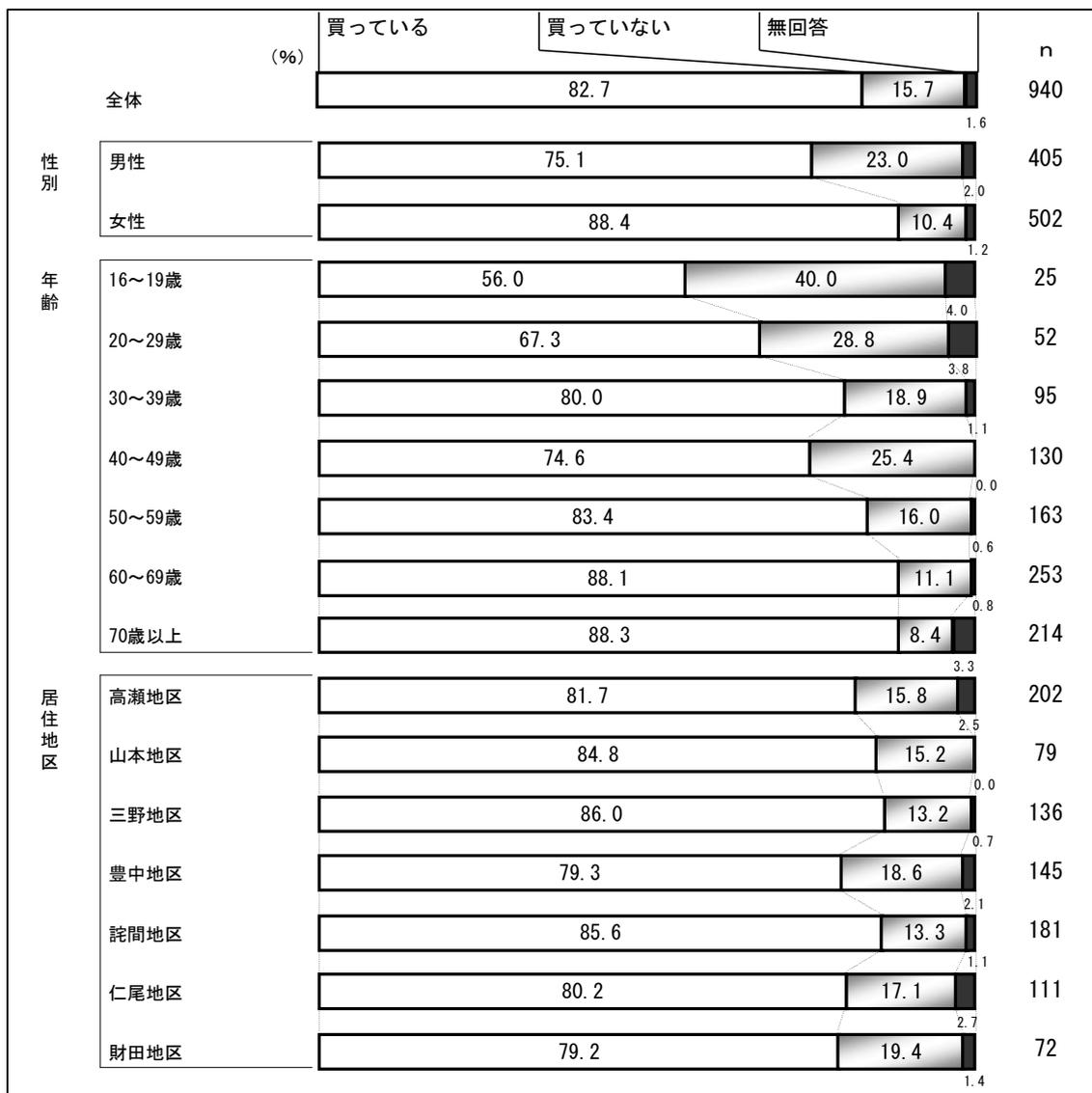
54 あなたは、地元や市内でとれた農水産物を買っていますか。

● 地元や市内でとれた農水産物を買っている人は 82.7%。

地元や市内でとれた農水産物については、「買っている」と答えた人が 82.7%、「買っていない」と答えた人が 15.7%となっています。

[図表 68 参照]

図表 68 地元や市内でとれた農水産物（全体・性別・年齢）



(55) 「広報みとよ」を読んでいるか

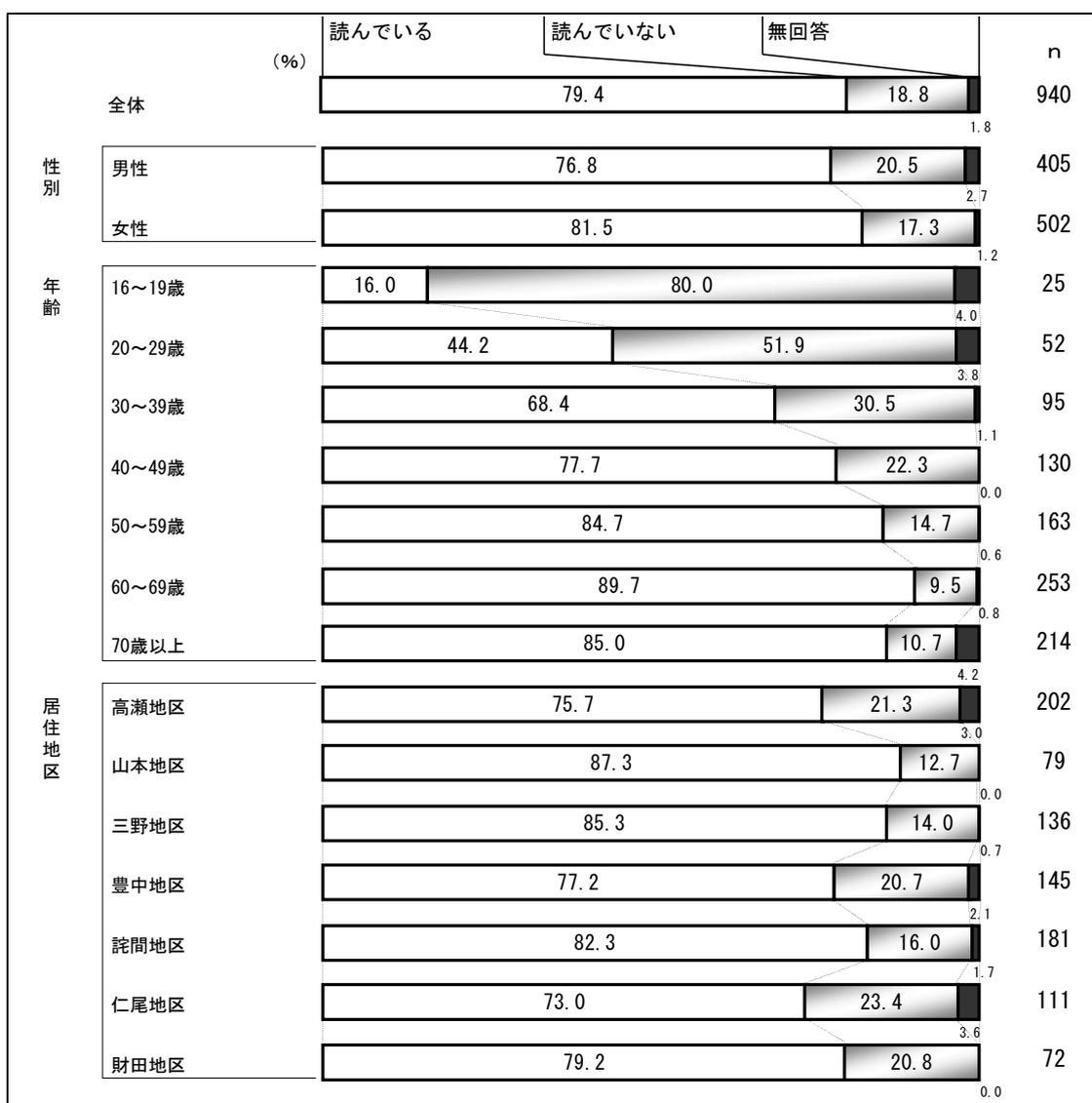
55 あなたは、「広報みとよ」を読んでいますか。

● 「広報みとよ」を読んでいる人は 79.4%。

「広報みとよ」については、「読んでいる」と答えた人が 79.4%、「読んでいない」と答えた人が 18.8%となっています。

[図表 69 参照]

図表 69 「広報みとよ」を読んでいるか（全体・性別・年齢）



(56) 市のホームページを見たことがあるか

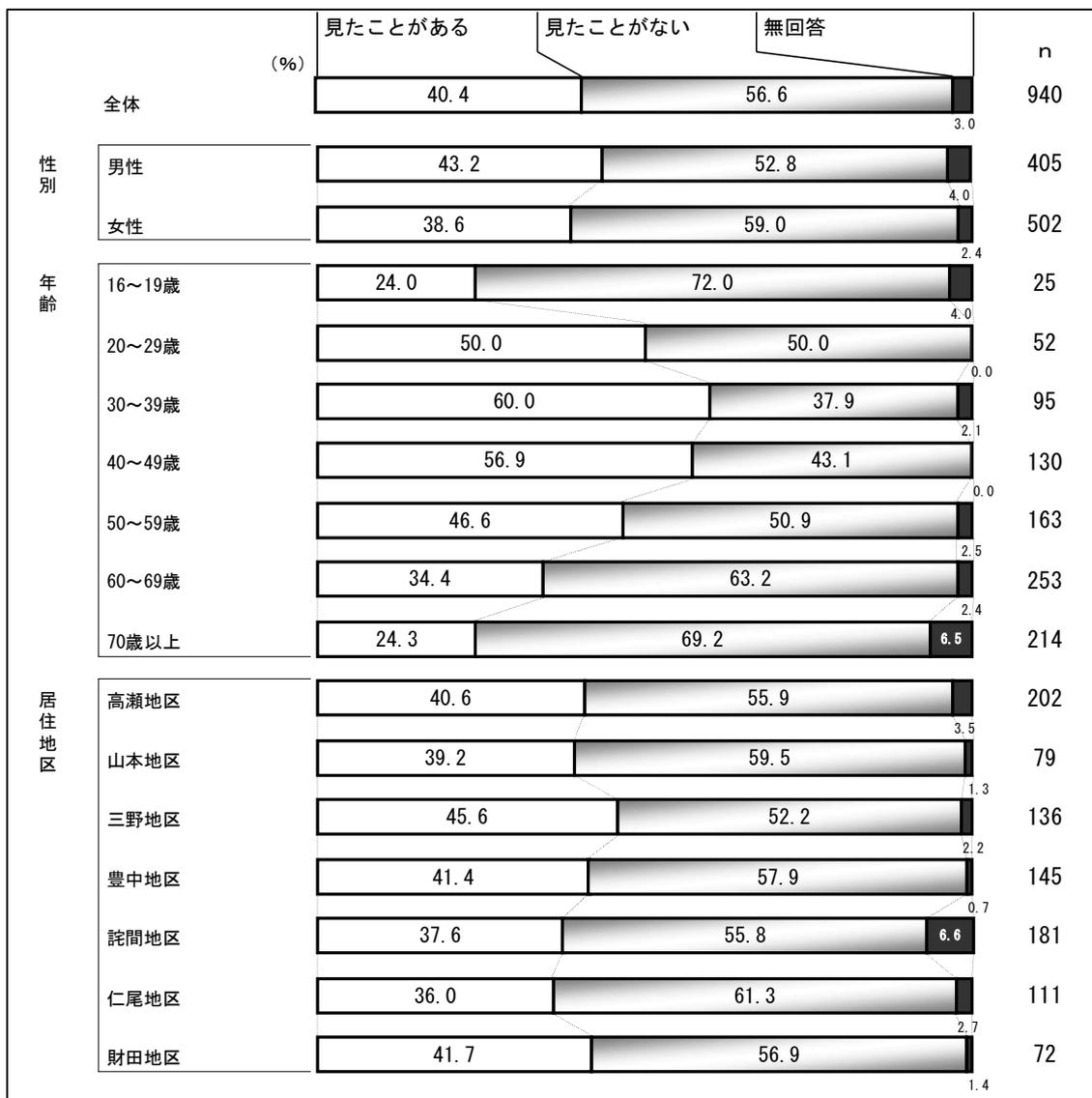
56 あなたは、市のホームページを見たことがありますか。

● 市のホームページを「見たことがある」人は40.4%。

市のホームページについては、「見たことがある」と答えた人が40.4%、「見たことがない」と答えた人が56.6%となっています。

[図表 70 参照]

図表 70 市のホームページを見たことがあるか（全体・性別・年齢）



(57) 夜9時以降に地域を安心して歩けるか

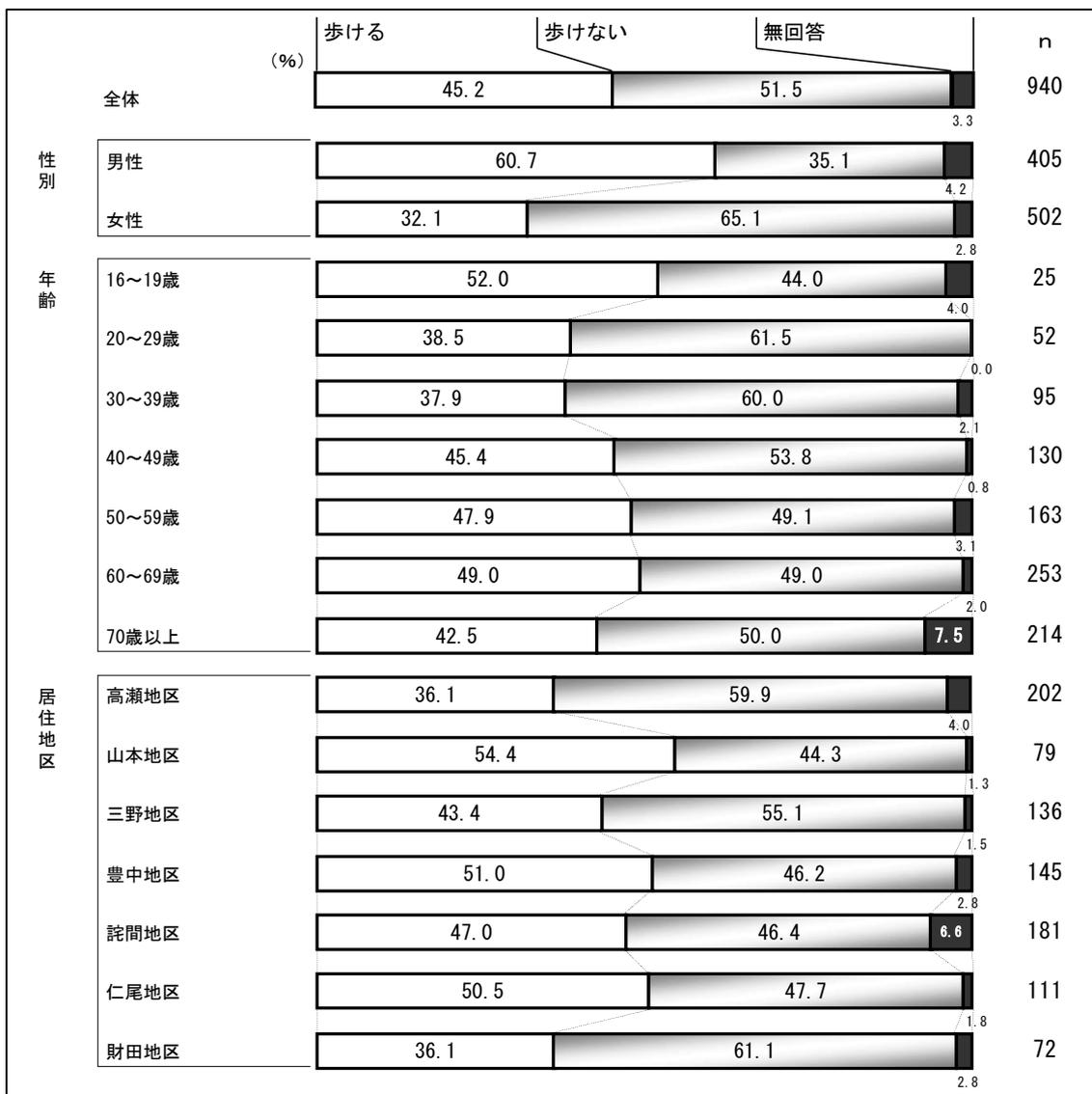
57 あなたは、夜9時以降に住んでいる地域を安心して歩けますか。

● 夜9時以降に地域を安心して歩ける人は45.2%。

夜9時以降に地域を安心して歩けるかどうかについては、「歩ける」と答えた人が45.2%、「歩けない」と答えた人が51.5%となっています。

[図表 71 参照]

図表 71 夜9時以降に地域を安心して歩けるか（全体・性別・年齢）



## (58) 環境に配慮した日用品を選んでいるか

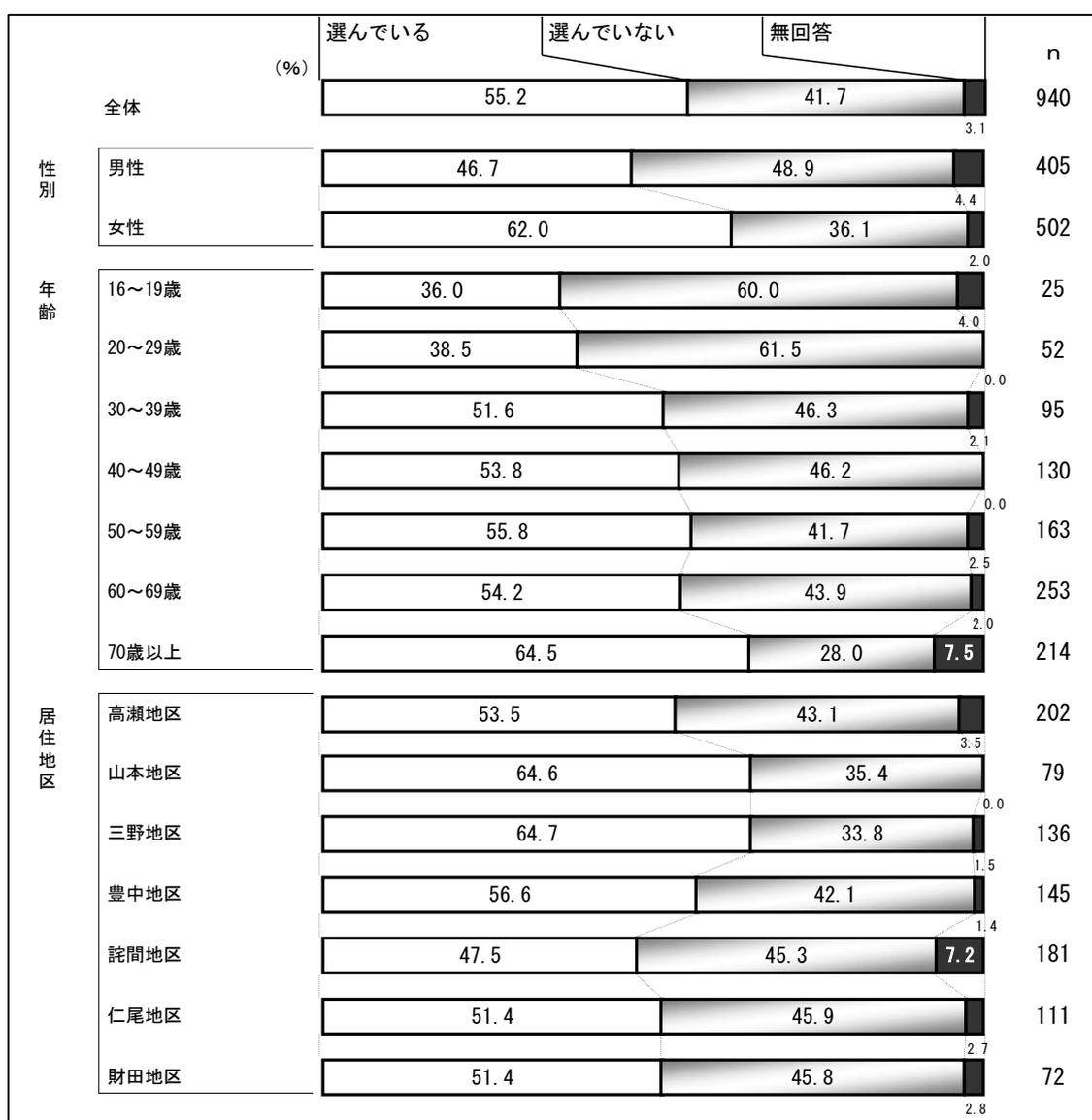
58 あなたは、日用品等を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいきますか。

● 環境に配慮した日用品を選んでいる人は 55.2%。

環境に配慮した日用品を選んでいるかどうかについては、「選んでいる」と答えた人が 55.2%、「選んでいない」と答えた人が 41.7%となっています。

[図表 72 参照]

図表 72 環境に配慮した日用品を選んでいるか（全体・性別・年齢）



## (59) 節水を心がけているか

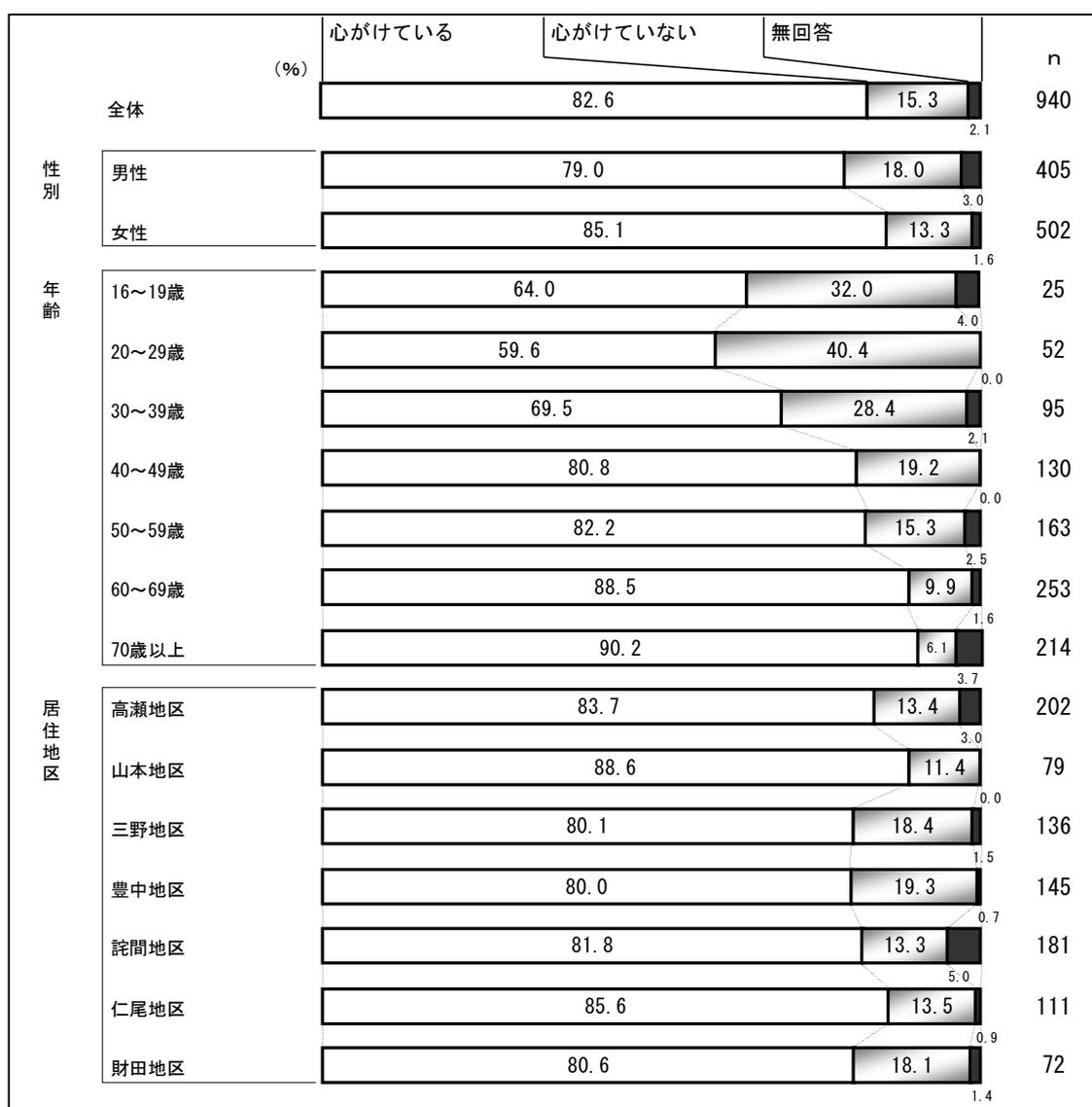
59 あなたは、節水を心がけていますか。

● 節水を心がけている人は 82.6%。

節水を心がけているかどうかについては、「心がけている」と答えた人が 82.6%、「心がけていない」と答えた人が 15.3%となっています。

[図表 73 参照]

図表 73 節水を心がけているか（全体・性別・年齢）



(60) 仕事と生活のバランスが希望通りか

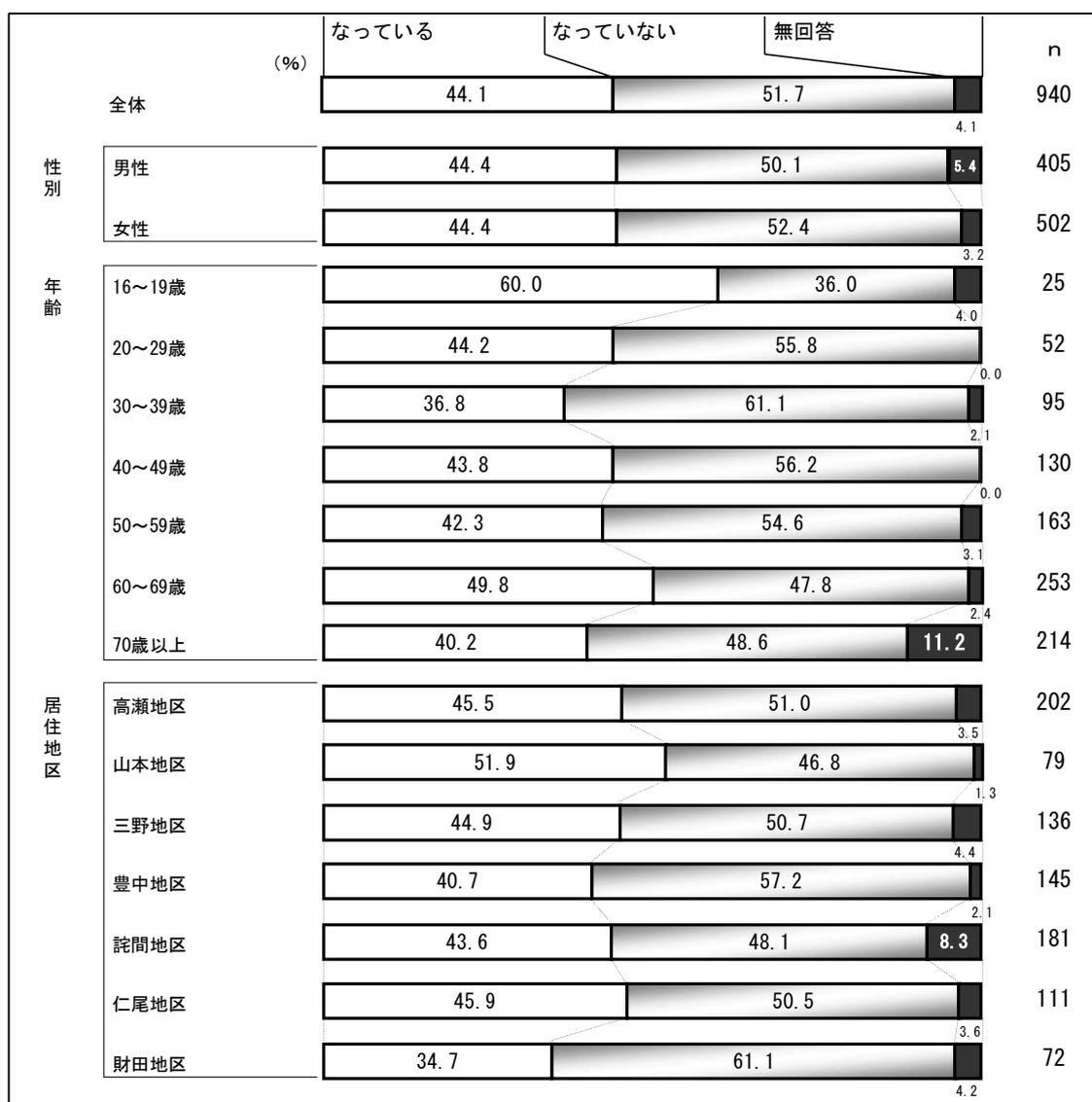
60 あなたは、仕事（または勉強）と生活のバランスが自分の希望通りになっていますか。

● 仕事と生活のバランスが希望通りになっている人は44.1%。

仕事と生活のバランスが希望通りかどうかについては、「なっている」と答えた人が44.1%、「なっていない」と答えた人が51.7%となっています。

[図表 74 参照]

図表 74 仕事と生活のバランスが希望通りか（全体・性別・年齢）



## 4 これからの行政サービスについて

### (1) 行政と市民の役割分担のあり方について

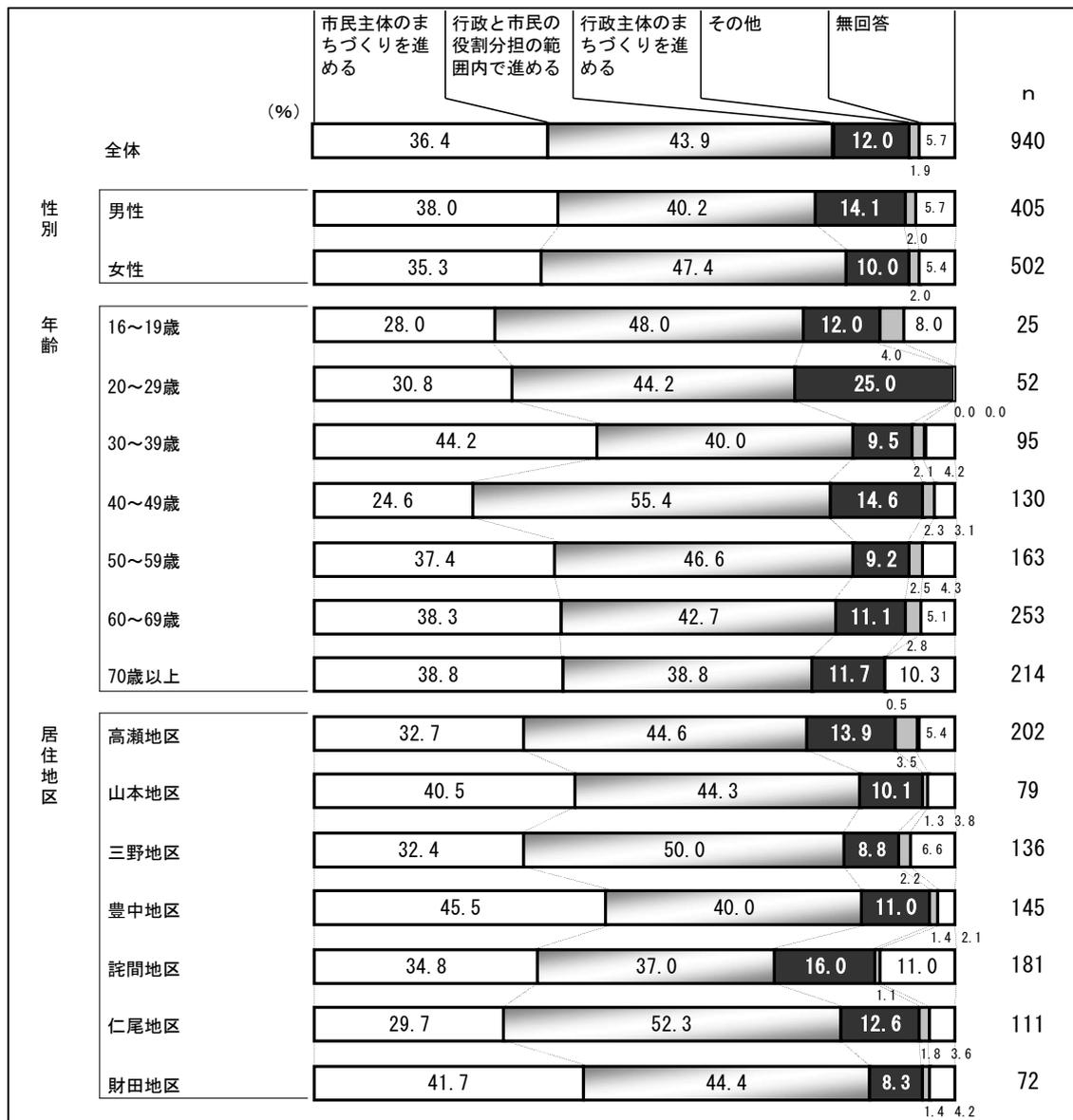
問7 これからのまちづくりには、行政と市民の役割分担をより明確化する必要がありますが、役割分担のあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

- 「現状の行政と市民の役割分担の範囲内で進める」が最も多く 43.9%。

行政と市民の役割分担のあり方については、「現状の行政と市民の役割分担の範囲内で進める」(43.9%)、「計画策定時など事業実施前からの市民参加を拡大し、市民主体のまちづくりを進める」(36.4%)、「市民の役割を最小限にし、行政主体のまちづくりを進める」(12.0%)となっています。

[図表 75 参照]

図表 75 行政と市民の役割分担のあり方について（全体・性別・年齢）



## (2) これからの行財政改革の進め方について

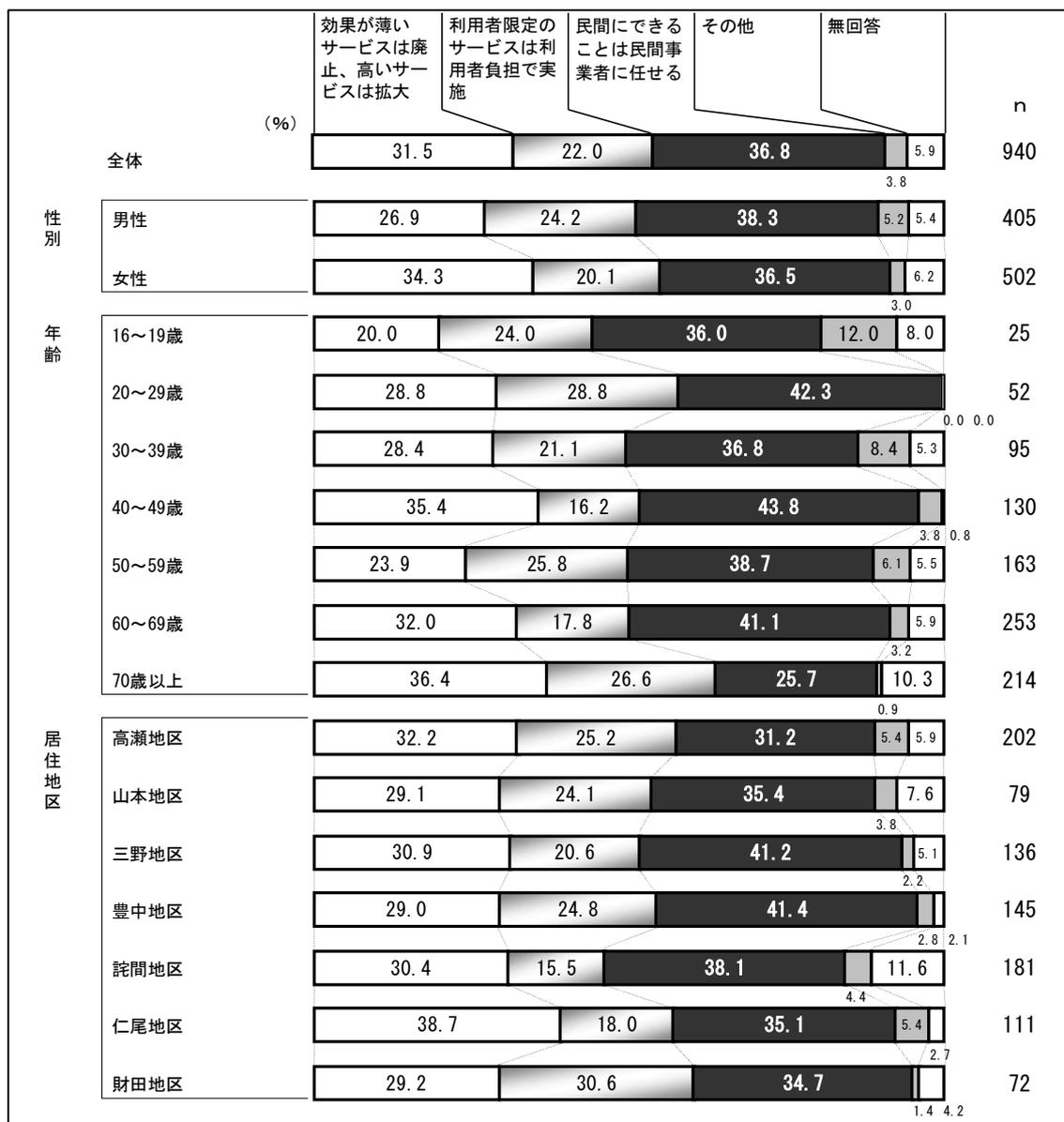
問8 これからの行政サービスを進めるには、無駄なコストの削減や事務効率化といった行財政改革をより強化する必要がありますが、行財政改革の進め方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

- 「民間にできることは民間事業者任せ」が最も多く 36.8%。

これからの行財政改革の進め方については、「民間にできることは民間事業者任せ」(36.8%)、「効果が薄いサービスは廃止、高いサービスは拡大」(31.5%)、「利用者限定のサービスは利用者負担で実施」(22.0%)となっています。

[図表 76 参照]

図表 76 これからの行財政改革の進め方について (全体・性別・年齢)



### (3) 人口減少の影響を感じているか

問9 あなたは、お住まいの地域での暮らしの中で、人口減少の影響を感じていますか。

● 「大きく感じている」と「やや感じている」を合わせた“感じている”という割合が64.6%。

人口減少の影響を感じているかどうかについては、「やや感じている」(32.4%)、「大きく感じている」(32.2%)、「まだ感じていない」(19.6%)となっています。なお、「わからない」は10.0%となっています。

[図表 77 参照]

図表 77 人口減少の影響を感じているか (全体・性別・年齢)

		大きく感じている	やや感じている	まだ感じていない	わからない	無回答	n
		(%)					
全体		32.2	32.4	19.6	10.0	5.7	940
性別	男性	32.8	32.1	19.5	8.1	7.4	405
	女性	32.1	33.3	18.5	11.8		502
年齢	16~19歳	28.0	32.0	16.0	20.0	4.4	25
	20~29歳	15.4	34.6	32.7	17.3	4.0	52
	30~39歳	22.1	30.5	20.0	25.3	0.0	95
	40~49歳	29.2	31.5	23.8	13.1	2.1	130
	50~59歳	28.2	38.7	20.2	8.6	2.3	163
	60~69歳	37.9	32.4	18.6	5.5	4.3	253
	70歳以上	39.3	29.4	14.0	5.1	12.1	214
	居住地区	高瀬地区	26.7	36.6	22.3	9.9	4.5
山本地区		35.4	40.5	12.7	8.9	2.5	79
三野地区		29.4	36.0	22.1	6.6	5.9	136
豊中地区		29.7	35.2	18.6	13.8	2.8	145
詫間地区		30.9	26.0	19.3	11.6	12.2	181
仁尾地区		42.3	25.2	15.3	11.7	5.4	111
財田地区		38.9	29.2	22.2	5.6	4.2	72



## (5) 人口減少に歯止めをかけるために必要なこと

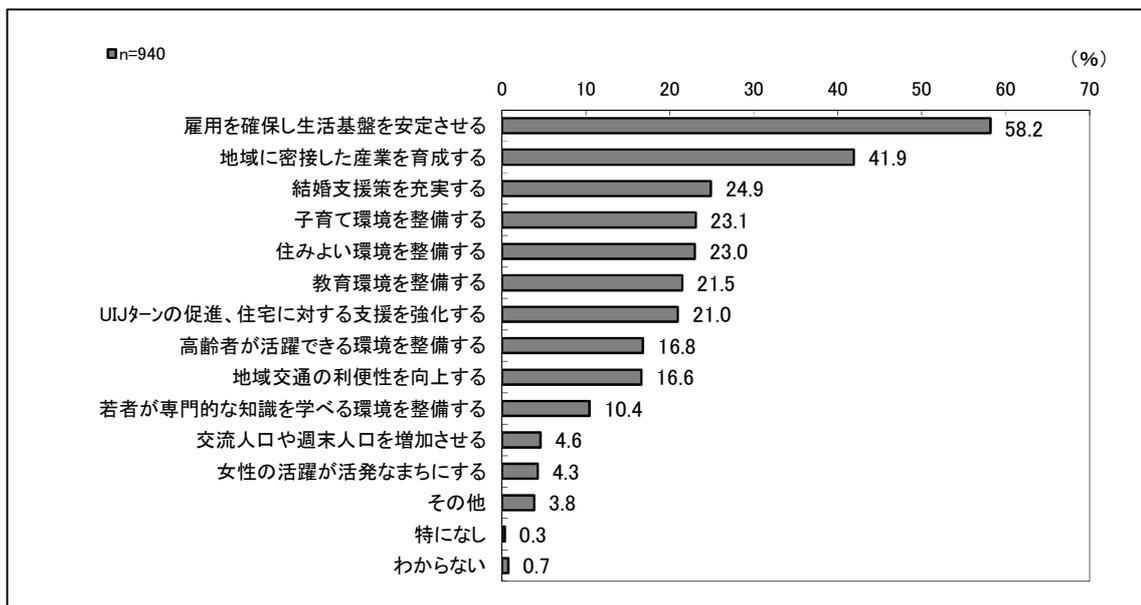
問 10 あなたは、人口減少に歯止めをかけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「雇用を確保し生活基盤を安定させる」が最も多く 58.2%。

人口減少に歯止めをかけるために必要なことは、「雇用を確保し生活基盤を安定させる」(58.2%)、「地域に密接した産業を育成する」(41.9%)、「結婚支援策を充実する」(24.9%)、「子育て環境を整備する」(23.1%)、「住みよい環境を整備する」(23.0%)、「教育環境を整備する」(21.5%)、「U I J ターンの促進、住宅に対する支援を強化する」(21.0%)、「高齢者が活躍できる環境を整備する」(16.8%)、「地域交通の利便性を向上する」(16.6%)、「若者が専門的な知識を学べる環境を整備する」(10.4%)、「交流人口や週末人口を増加させる」(4.6%)、「女性の活躍が活発なまちにする」(4.3%) の順となっています。

[図表 78・79 参照]

図表 78 人口減少に歯止めをかけるために必要なこと (全体/複数回答)



図表 79 人口減少に歯止めをかけるために必要なこと  
(全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		雇用を確保し生活基盤を安定させる 58.2	地域に密接した産業を育成する 41.9	結婚支援策を充実する 24.9
性別	男性	雇用を確保し生活基盤を安定させる 57.5	地域に密接した産業を育成する 46.2	結婚支援策を充実する 23.2
	女性	雇用を確保し生活基盤を安定させる 58.0	地域に密接した産業を育成する 38.0	結婚支援策を充実する 26.7
年齢	16～19歳	雇用を確保し生活基盤を安定させる 44.0	子育て環境を整備する／若者が専門的な知識を学べる環境を整備する 36.0	
	20～29歳	雇用を確保し生活基盤を安定させる 67.3	子育て環境を整備する 30.8	地域に密接した産業を育成する／教育環境を整備する 28.8
	30～39歳	雇用を確保し生活基盤を安定させる 56.8	子育て環境を整備する 52.6	地域に密接した産業を育成する 29.5
	40～49歳	雇用を確保し生活基盤を安定させる 57.7	地域に密接した産業を育成する 35.4	教育環境を整備する 33.1
	50～59歳	雇用を確保し生活基盤を安定させる 56.4	地域に密接した産業を育成する 49.1	U I J ターンの促進、住宅に対する支援を強化する 26.4
	60～69歳	雇用を確保し生活基盤を安定させる 60.1	地域に密接した産業を育成する 50.6	結婚支援策を充実する 30.0
	70歳以上	雇用を確保し生活基盤を安定させる 57.0	地域に密接した産業を育成する 41.6	結婚支援策を充実する 31.8
居住地区	高瀬地区	雇用を確保し生活基盤を安定させる 60.9	地域に密接した産業を育成する 33.7	教育環境を整備する 26.2
	山本地区	雇用を確保し生活基盤を安定させる 59.5	地域に密接した産業を育成する 43.0	結婚支援策を充実する 31.6
	三野地区	雇用を確保し生活基盤を安定させる 58.8	地域に密接した産業を育成する 44.1	結婚支援策を充実する 32.4
	豊中地区	雇用を確保し生活基盤を安定させる 59.3	地域に密接した産業を育成する 42.1	教育環境を整備する 26.9
	詫間地区	雇用を確保し生活基盤を安定させる 54.1	地域に密接した産業を育成する 43.1	子育て環境を整備する 24.9
	仁尾地区	雇用を確保し生活基盤を安定させる 57.7	地域に密接した産業を育成する 49.5	地域交通の利便性を向上する 29.7
	財田地区	雇用を確保し生活基盤を安定させる 54.2	地域に密接した産業を育成する 43.1	結婚支援策を充実する 29.2

## 三豊市「第2次総合計画」策定のための 市民アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

これまで三豊市では、三豊市新総合計画基本構想に掲げた将来像「“豊かさ”をみんなで育む市民力都市・三豊」の実現に向け、幅広い分野にわたる様々な施策・事業を展開してきました。

本調査は、三豊市新総合計画の計画期間が平成30年度をもって終了することから、新たな「第2次三豊市新総合計画」を策定するため、本市のまちづくりに対するみなさまのご意見やご意向をお聞きするものです。

今回のアンケートは市内にお住まいの16歳以上の方の中から2,500名を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

ご記入頂いた内容については、全てコンピュータで統計的に処理し、利用させていただきます。調査票の公表や目的以外の利用はありません。

お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを、皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせください。

平成29年9月

三豊市長 横山 忠 始



### 【ご記入にあたってのお願い】

- 1 宛名のご本人がお答えください。ご本人の回答や記入が難しい場合は、ご家族の方や主に介助されている方が、ご本人と相談し、ご本人の立場にたってお答えください。
- 2 お答えは、設問ごとに(1つに○印)などそれぞれ指定されていますので、お間違えないようお気をつけください。  
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例 ①)
- 3 ご記入いただいた調査票は9月26日(火)までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です。)
- 4 この調査票についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

三豊市 政策部 田園都市推進課 電話：0875-73-3011

F A X：0875-73-3022

メール：denen@city.mitoyo.kagawa.jp

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで○印をつけてください。(項目ごと1つに○印)

(1) あなたの性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(2) あなたの年齢	1. 16～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳
	4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳
	7. 70歳以上		
(3) あなたの居住地区	1. 高瀬地区	2. 山本地区	3. 三野地区
	4. 豊中地区	5. 詫間地区	6. 仁尾地区
	7. 財田地区		

まちへの愛着度と定住思考についておたずねします。

問2 あなたは、三豊市に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。(1つだけに○印)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 愛着を感じている       | 2. どちらかといえば感じている |
| 3. どちらかといえば感じていない | 4. 愛着を感じていない     |

問3 あなたは、今後も三豊市に住み続けたいと思いますか。(1つだけに○印)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 今の場所にずっと住み続けたい | 2. 当分の間は今の場所に住みたい |
| 3. 市内の別の場所に移りたい   |                   |
| 4. できれば市外に移りたい    |                   |
| 5. すぐにでも市外に移りたい   |                   |
| 6. わからない          |                   |

問3-1 3、4、5とお答えした方におたずねします。  
「移りたい」理由はどれですか。(3つまでに○印)

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1. 地域に愛着がない | 2. 交通の便が悪い     |
| 3. 買い物に不便   | 4. 娯楽や遊戯施設が少ない |
| 5. 地域の間関係   | 6. 仕事、通学の関係    |
| 7. 結婚するから   | 8. 住宅の都合       |
| 9. 特に理由はない  | 10. その他( )     |

まちの現状と今後の取り組みについておたずねします。

問4 あなたは、毎日の生活の中で、生活環境や行政サービス、施設についてどれくらい満足していますか。また、今後の取り組みとして、どれくらい重要だとお考えですか。

(1) あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

(2) あなたは、以下の項目について、今後どの程度重要と思いますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

項目	(1)満足度				→	(2)重要度			
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である		重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要ではない	重要ではない
<b>1. 活力にあふれ、産業が躍動するまち（産業・雇用）</b>									
①農業の振興（担い手の育成、ブランドの確立、耕作放棄地対策の推進、鳥獣被害防止活動の促進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
②水産業の振興（漁港の管理、水産資源の確保、後継者の育成等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
③工業の振興（企業誘致の推進、地域企業の支援、新産業の創出等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
④商業の振興（商業施設の誘致、中小企業への運営支援、商業経営の近代化促進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑤観光の振興（観光PR活動の強化、観光拠点施設・資源の充実等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑥雇用の場の確保（就職相談・情報提供・職業あつ旋の推進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑦定住促進対策の推進（空き家の有効利用など定住・移住対策の推進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
<b>2. 豊かな自然と共生し、環境にやさしいまち（環境・生活）</b>									
①自然環境の保全（森林・河川環境の保全等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
②公害などの環境対策の推進（調査・監視体制の強化、環境保全活動の促進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
③地域エネルギーの活用（太陽光発電や廃棄物のエネルギー利用等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
④ごみの適正処理・リサイクルの促進（ごみの発生抑制、分別化推進、リサイクルの促進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4

項目	(1)満足度					(2)重要度			
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である		重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要ではない	重要ではない
⑤上水道の安定供給（安定した水道利用、水源の確保等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑥生活排水の適正処理（浄化槽の普及促進、集落排水施設の利用促進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑦公園や広場の整備（公園・緑地の整備・改修、管理体制の充実等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑧緑化の推進（緑化運動・花づくり運動の促進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑨斎場の整備・管理（斎場の利便性向上、管理体制の確立等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑩墓地の整備・管理（墓地の供給、霊園の適正管理等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑪土地の有効利用（適正な誘導による計画的な土地利用の推進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑫町並みや景観の整備（三豊市らしい美しい景観づくり等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑬住宅対策の推進（民間住宅開発の適正誘導、市営住宅の整備・改善等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑭国・県道の整備（国道11号・32号、インターチェンジ整備の促進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑮市道の整備（身近な市道網の整備、適正管理・維持補修の推進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑯コミュニティバスの充実（路線やダイヤの変更、デマンドタクシー検討による利便性向上等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑰離島航路の維持（離島航路の運航維持等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑱港湾の整備促進（防波堤、防潮堤等の整備による高潮対策や老朽化等に伴う改良等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑲情報化の推進（情報通信基盤の整備支援、多様な情報サービスの提供等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
<b>3. 人々が助け合う、安全・安心なまち（安全・安心）</b>									
①消防体制の強化（消防団の育成、消防施設の更新、常備消防の機能充実等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
②防災体制の強化（自主防災組織の育成、避難体制の確立、情報伝達体制の充実等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
③防犯対策の推進（自主防犯組織の育成、防犯灯の設置・修繕等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4

項目	(1)満足度					(2)重要度			
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である		重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要ではない	重要ではない
④交通安全対策の推進（交通安全意識の啓発、交通安全施設の整備等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑤消費者対策の推進（トラブル防止に向けた啓発や情報提供、相談体制の充実等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
<b>4. 人々が支えあい、健康でいきいきと暮らせるまち（医療・健康・福祉）</b>									
①地域医療体制の確立（医療機関の運営体制の強化、離島救急体制の支援等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
②健康づくりの促進（各種健診・指導等の推進、健康づくり活動の支援等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
③児童福祉・子育て支援の充実（保育・子育て支援サービスの充実等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
④高齢者福祉の推進（福祉・介護サービスの充実、生きがいづくりの促進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑤障がい者福祉の推進（福祉サービスの充実、雇用・就労の支援等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑥生活困窮者の自立支援（相談体制の充実、生活保護制度の適切な運用等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑦地域福祉の推進（福祉ボランティアの育成・活動支援、地域福祉活動への市民の参画等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑧社会保障制度の健全運営（国民健康保険・国民年金などの健全運営等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
<b>5. 豊かな心をはぐくみ、文化を発信するまち（教育・文化）</b>									
①幼稚園教育の充実（教育内容の充実、預かり保育の充実、安心・安全な教育環境の管理等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
②学校教育の充実（教育内容の充実、地域に開かれた学校づくり、安心・安全な教育環境の管理等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
③生涯学習社会の形成（市民主体の生涯学習活動、団体の支援、図書館活動の充実等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
④青少年の健全育成（補導活動・環境浄化活動・健全育成活動の推進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑤文化芸術の振興（文化芸術活動の拡充、幅広い年齢層の参加等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑥文化財の保存・活用（有形・無形の文化財の調査及び保存・活用等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑦スポーツ活動の普及（体育団体・指導者の育成、多様なスポーツ活動の普及促進等）	1	2	3	4	→	1	2	3	4















人口減少についておたずねします。

問9 あなたは、お住まいの地域での暮らしの中で、人口減少の影響を感じていますか。  
(1つだけに○印)

1. 大きく感じている
2. やや感じている
3. まだ感じていない
4. わからない

問9-1 1、2とお答えした方におたずねします。  
どのようなところに影響を感じていますか。  
宜しかったら、具体的な内容をご記入ください。

(参考) 三豊市の人口推移及び将来展望			
	平成17年 (2005年)	平成27年 (2015年)	平成72年 (2060年)
14歳以下	8,920人	7,754人	6,678人
15歳～64歳	42,254人	35,256人	23,927人
65歳以上	20,006人	22,514人	14,247人
合計(総人口)	71,180人	65,524人	44,852人

※国勢調査結果、本市人口ビジョンより

問10 あなたは、人口減少に歯止めをかけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまでに○印)

1. 雇用の受け皿となる地域に密接した産業を育成すること
2. 若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること
3. 女性の意見によるまちづくり、女性の社会進出が活発なまちにすること
4. 妊娠期や乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること
5. 子供が安心して健やかに育つ社会づくりを進め、教育環境を整備すること
6. 結婚を希望する人への出会いの機会を提供するなどの結婚支援策を充実すること
7. U・I・Jターンを促進するための事業や、住宅に対する支援を強化すること
8. 観光資源の発掘やネットワーク化によって交流人口や週末人口を増加させること
9. 大学や専門学校を増やし、若者が市内で専門的な知識を学べる環境を整備すること
10. 豊かな自然環境や充実した医療環境をはじめとした住みよい環境を整備すること
11. 高齢者がいつまでも健康で活躍できる環境を整備すること
12. 地域交通の利便性を向上すること
13. 特になし
14. わからない
15. その他 [ ]



